



人口減少社会への 対応について



日本一のおんせん県おおいた  みりよく 味力も満載

大分県知事 広瀬 勝貞

大分県の市町村合併の状況

- 人口減少を見通し（大分県では昭和61年から減少開始）、大分県内では先手を打って多くの地域で市町村合併が実現。
- 県も、合併協議会への県職員の派遣、県単独の合併推進交付金など、積極的に支援。

【市町村数の変遷】

	大分県内の状況				(参考) 全国の状況			
	H16.4.1	H25.1.1	増減数	増減率	H11.3.31	H25.1.1	増減数	増減率
市町村数	58	18	▲ 40	▲ 69.0	3,232	1,719	▲ 1,513	▲ 46.8
人口1万人未満	18	1	▲ 17	▲ 94.4	1,537	480	▲ 1,057	▲ 68.8
平均人口（人）	21,054	65,799	44,745	—	36,387	69,291	32,904	—
平均面積（Km ² ）	109.3	352.2	242.9	—	114.8	216.6	101.8	—

◎合併后市町村数の少なさで**全国第4位**
 ◎市町村数減少率（69.0%）の高さで**全国第5位**

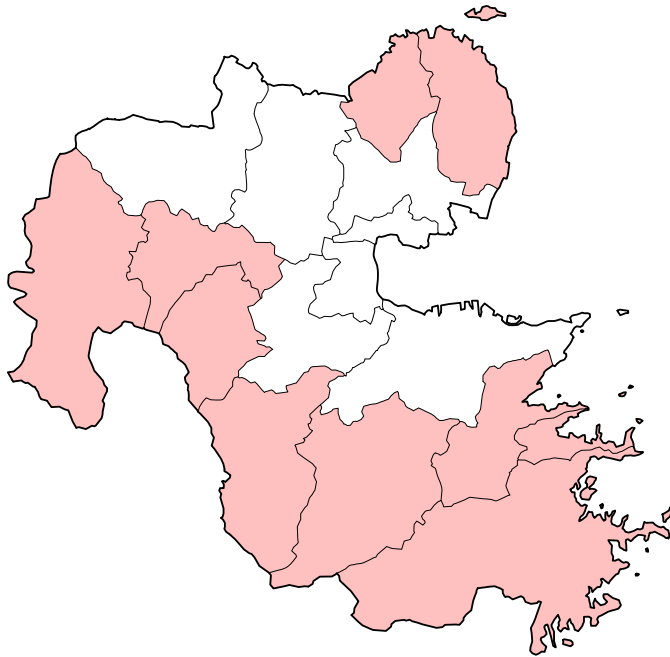


市町村合併による効果①

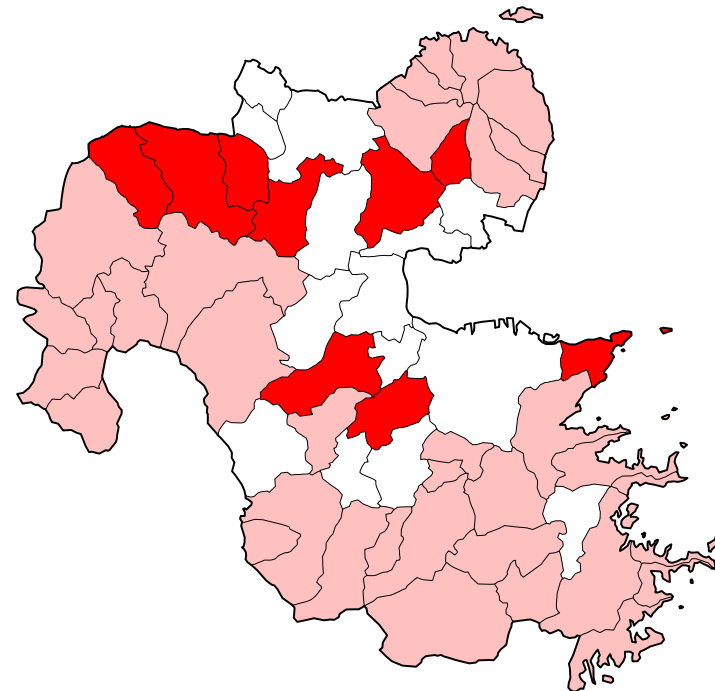
- 日本創成会議の推計によると、大分県内の「消滅可能性都市」は61.1% (11団体/18団体)
- 県の独自推計 (日本創成会議の推計方法とは異なる。) では、合併していなければ20~39歳の女性の減少率が50%を超える団体は75.9% (44団体/58団体)

日本創成会議の推計の
消滅可能性都市

61.1% (11団体/18団体)



合併しなかった場合(県独自推計)の
20~39歳の女性の減少率が50%を超える
団体 75.9% (44団体/58団体)



※赤色は合併したことにより、減少率50%未満となった旧町村区域

市町村合併による効果②

1 住民ニーズの高度化・多様化等への対応

[行政組織の充実]

- 防災・危機管理室、子ども未来室、林業振興課の新設（日田市）
佐伯ブランド流通課、防災危機管理課の新設（佐伯市）等

[専門職員の充実]

- 保健師・助産師、農林水産技師、建築技師、土木技師等の増員

2 スケールメリットを活かした事業

[住民サービスの向上]

- 図書館、体育館等公共施設の広域利用（佐伯市、宇佐市等）
- コミュニティバスの新設・広域化（中津市、杵築市等）
- CATV網の整備による情報格差の是正（日田市、臼杵市等）

[コミュニティビジネスの拡大]

- 佐伯市本匠の「本匠生活改善グループ愛の里」：郷土料理「雪ん子寿し」の販売
- 日田市中津江村の「株式会社つえエーピー」：地域の特産品を使った加工品の製造販売

[施設整備の充実] ※合併特例債活用

- 消防庁舎建設（佐伯市、臼杵市、豊後高田市、杵築市、豊後大野市、竹田市）
- し尿処理施設の建設・改修（中津市、佐伯市、豊後高田市）
- 新市庁舎建設（佐伯市（津波避難ビル機能を確保）、豊後大野市（公民館を併設））

3 効率的な行政体制の整備及び行財政基盤の強化

H16とH24との比較

- [職員数] 2,075人（18.0%）の減（非合併団体は337人（14.5%）の減）（※病院職員を除く。）
- [人件費] 190億円（18.6%）の減（非合併団体は27億円（14.7%）の減）
- [基金残高] 735億円（92.8%）の増（非合併団体は88億円（41.3%）の増）
- [地方債残高] 510億円（9.0%）の減（非合併団体は39億円（6.0%）の増）

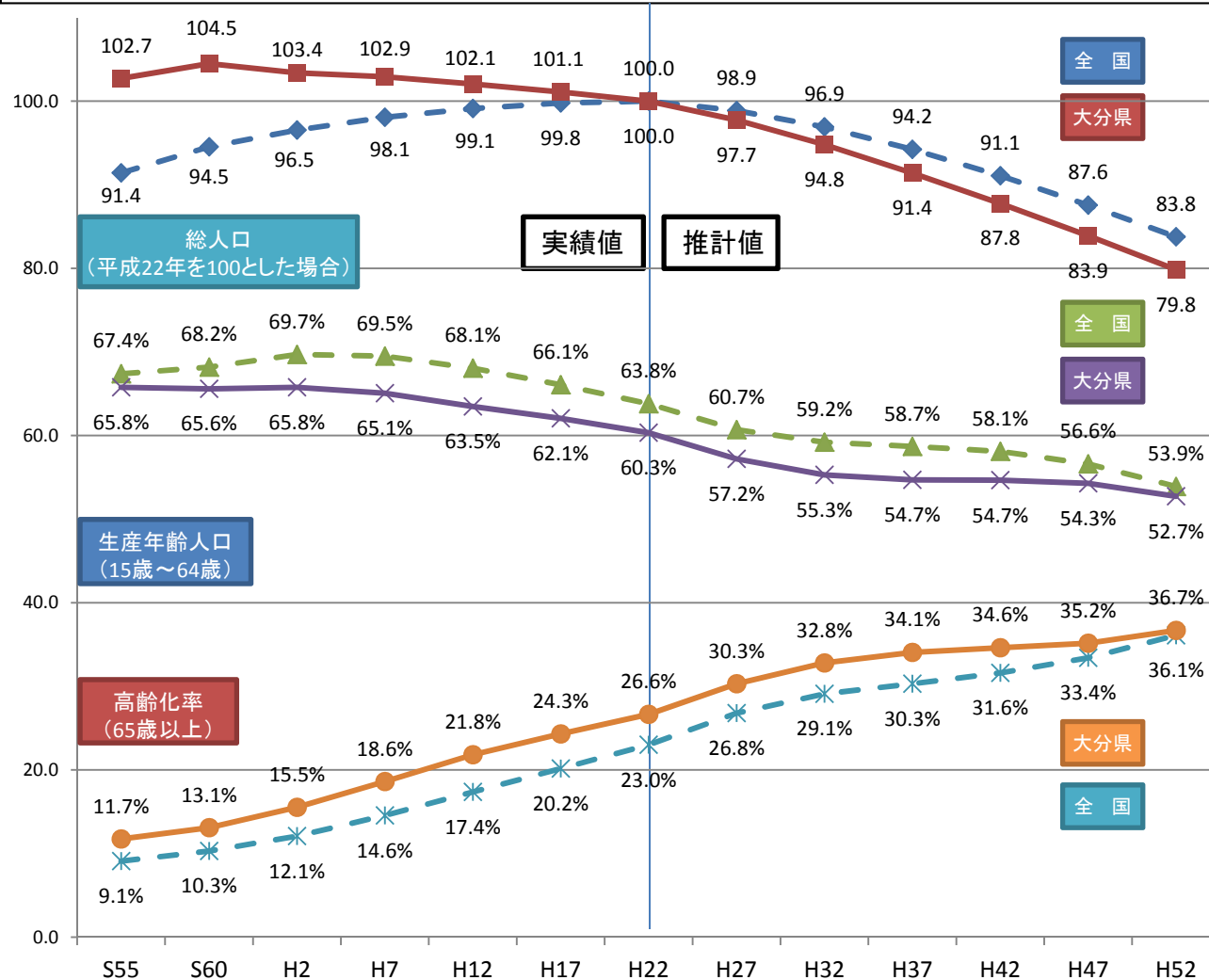
大分県の人口の将来推計（平成22年～平成52年）

○ 大分県の総人口の減少幅は、全国と比べて大きい。

総人口比率70%以下の市町村：12市町村/18市町村

○ 生産年齢人口比率の低下、高齢化率の上昇は、全国と比べて早期に顕著となる。

高齢化率40%以上の市町村：11市町村/18市町村

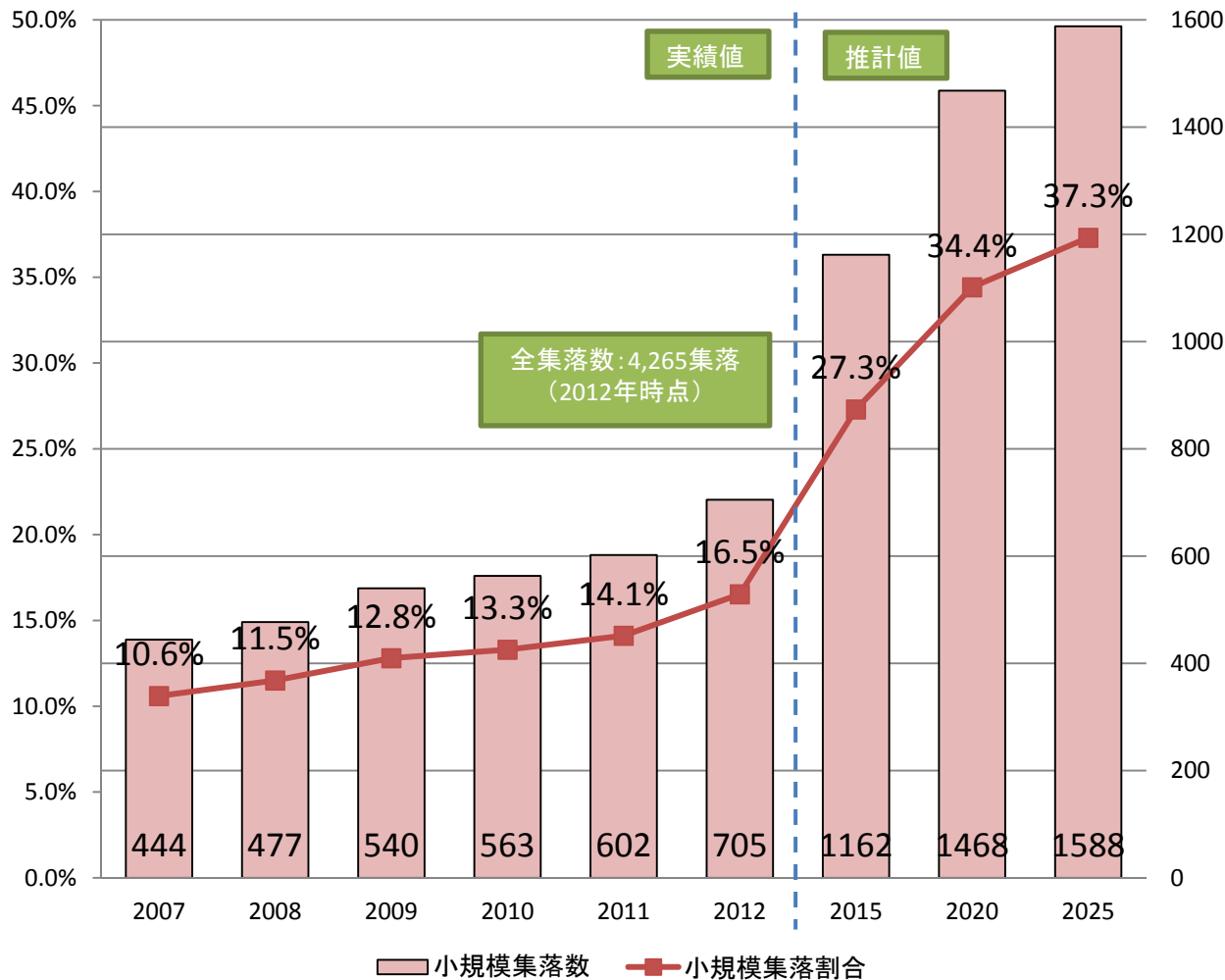


自治体名	人口(年)		総人口の比率 (平成52年 /平成22年)	高齢化率 (65歳以上)	
	平成22年	平成52年		平成22年	平成52年
大分県	1,196,529	955,424	79.8	26.6	36.7
大分市	474,094	438,396	92.5	20.5	34.0
別府市	125,385	98,570	78.6	27.8	34.7
中津市	84,312	70,757	83.9	25.5	33.1
日田市	70,940	49,136	69.3	29.0	40.1
佐伯市	76,951	49,942	64.9	32.4	44.5
臼杵市	41,469	27,346	65.9	32.5	42.1
津久見市	19,917	11,064	55.6	33.6	45.7
竹田市	24,423	13,524	55.4	40.8	50.2
豊後高田市	23,906	15,695	65.7	34.6	42.2
杵築市	32,083	22,471	70.0	31.5	38.2
宇佐市	59,008	42,958	72.8	30.7	37.5
豊後大野市	39,452	25,295	64.1	37.3	45.0
由布市	34,702	26,900	77.5	29.0	37.3
国東市	32,002	19,277	60.2	36.4	47.1
姫島村	2,189	1,094	50.0	36.8	57.0
日出町	28,221	25,859	91.6	24.7	33.1
九重町	10,421	6,366	61.1	37.1	47.0
玖珠町	17,054	10,774	63.2	30.5	41.2

出典：『日本の地域別将来推計人口(平成25年3月推計)』国立社会保障・人口問題研究所

大分県内の小規模集落の状況

○ 小規模集落（高齢化率が50%以上の集落）数は、2025年には1,588集落（構成比37.3%）となり、2012年対比で883集落（+125%）の増加となる。



問題点

H19大分県観光・地域振興局「小規模集落实態調査」より

○ 鳥獣被害

○ 耕作放棄地の増大

○ 災害の発生

○ ごみの不法投棄の増加

○ 医療の受診が困難

○ 荒廃した家屋の増加

○ 集落外への交通手段の確保が困難

○ 生活道路等の維持管理が困難

など

集落の「水」問題

- ・小規模集落の中には、生活に不可欠な飲料水を、山の湧き水などに頼り、水量不足や水質不良に悩んでいる集落もある。
- ・また、高齢化により、集落で管理する給水施設(貯水タンク等)の管理が困難になる集落もある。

(豊後高田市 黒土地区)



- ・良好な水源が無く、慢性的な水不足により不自由な生活を強いられていた。
- ・左写真は、10kmほど先にある両子寺の湧水を週1回ほど汲みに行き飲用水を確保する様子。



- ・左写真は、鉄、マンガンが多く含まれ生活用水として不適切であった深層地下水から、生活用水を供給できる、浄水能力8トン/日の小規模飲料水供給施設を整備したもの。

大分県の対策

- 小規模給水施設普及支援事業
 - 水問題を抱える183集落(うち小規模集落140)の積極的解消に取り組む市町村を支援
 - ・実態を把握し、中長期整備計画を策定
 - ・給水施設の整備を支援
 - 【補助率】※集落の負担1/20以下
 - 水源確保(県1/2、市町村1/2)
 - 上記以外(県1/2、市町村4.5~5/10)

消滅した集落 【大分市佐賀関見尾地区】



- ・60年前には、8世帯50人ほど在住
- ・過疎化の進行により、給水施設の管理が困難に
- ・3年前には90代の女性1人となり、市役所職員がポリタンクで飲料水を供給
- ・「みんなに迷惑をかける」と息子宅に身を寄せた

大分県の小規模集落対策

○ 本県は、平成20年度に知事を本部長、市町村長を本部員とする小規模集落対策本部を立ち上げ、小規模集落に安心して住み続けられるよう、セーフティネットの構築に重点を置いた対策に取り組んでいる。

里のくらし支援事業



○ 大学生と連携した「奥嶽ショッピングセンター」の開設



○ 近隣の複数集落が連携した総合防災訓練の実施

○ 補助率：県3/4、市町村1/5以上
→ 集落負担は1/20以下
○ 支援実績：95取組【80,244千円】

集落応援隊事業



○ 大しめ縄づくり
「東奥山七福神」の大しめ縄張り替えの手伝い

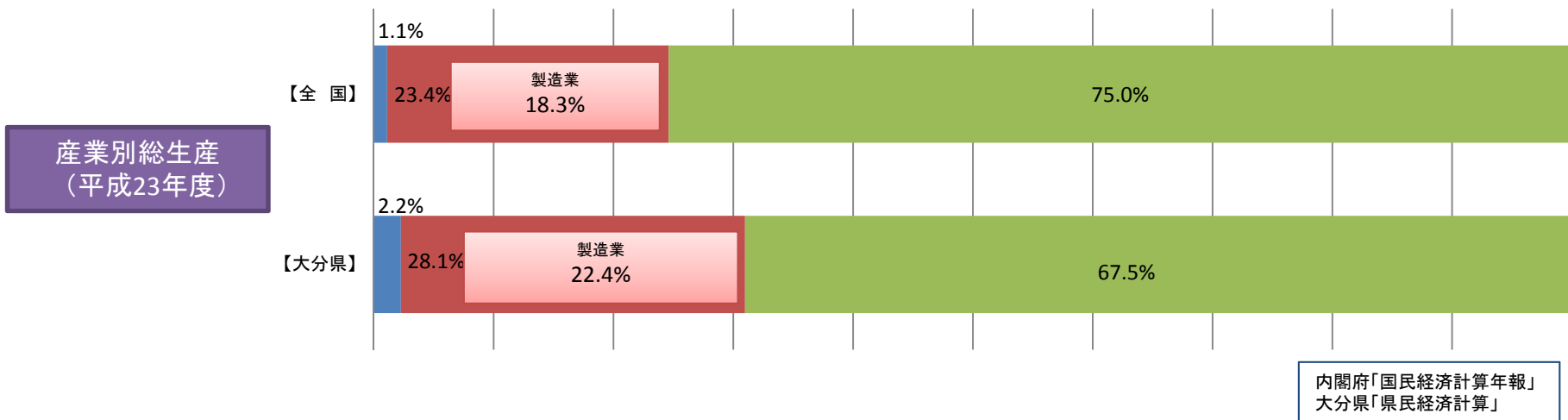
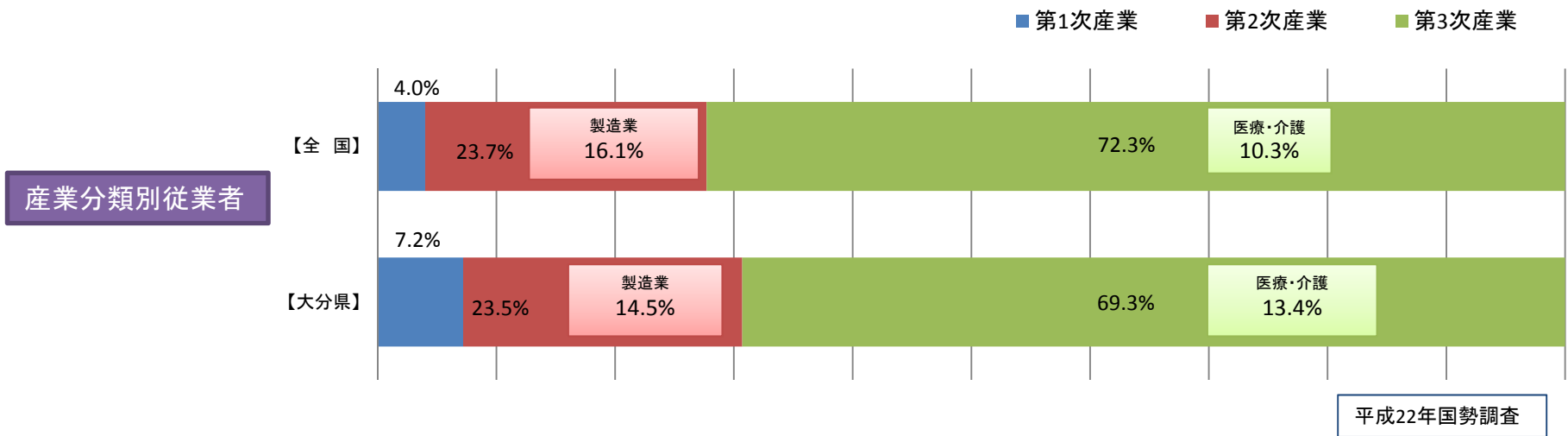


○ 水路清掃
春先に地域の埋設水路を復旧

○ 企業やNPO等が集落の共同作業を手伝い
○ 登録団体：300事業所等（H26.3末現在）
○ 活動実績：381回

大分県の産業構造の特色

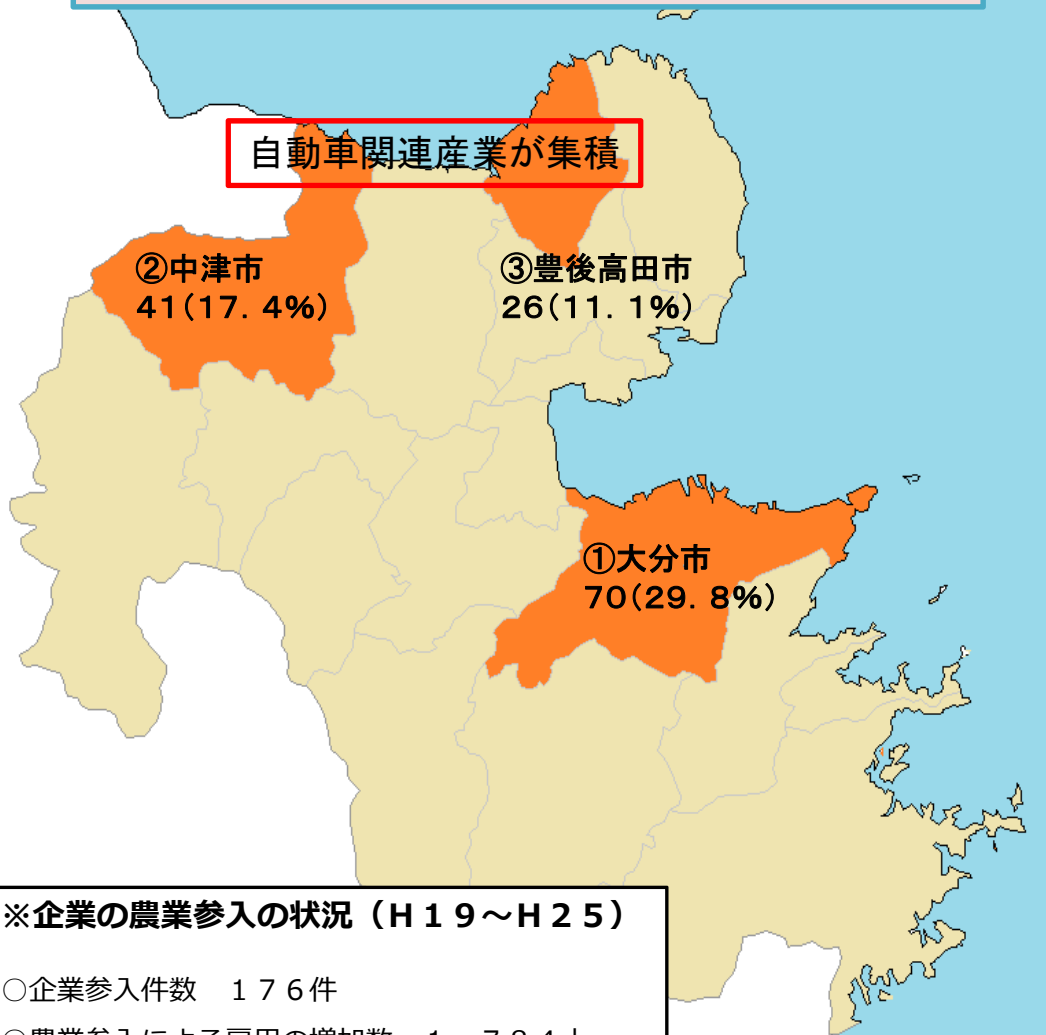
- 第1次産業従事者の割合が、全国に比べて高い。
- 第2次産業の製造業従事者の割合は全国に比べて低いが、総生産における製造業の割合は全国に比べて高い。
- 第3次産業従事者のうち、医療・介護の割合が全国に比べて高い。



大分県内への企業進出と人口増減の状況

○ 企業集積による雇用拡大は、人口減少緩和に効果
 人口の社会増・・・大分市（キヤノン等）、中津市（ダイハツ等）、豊後高田市（東海ゴム等）

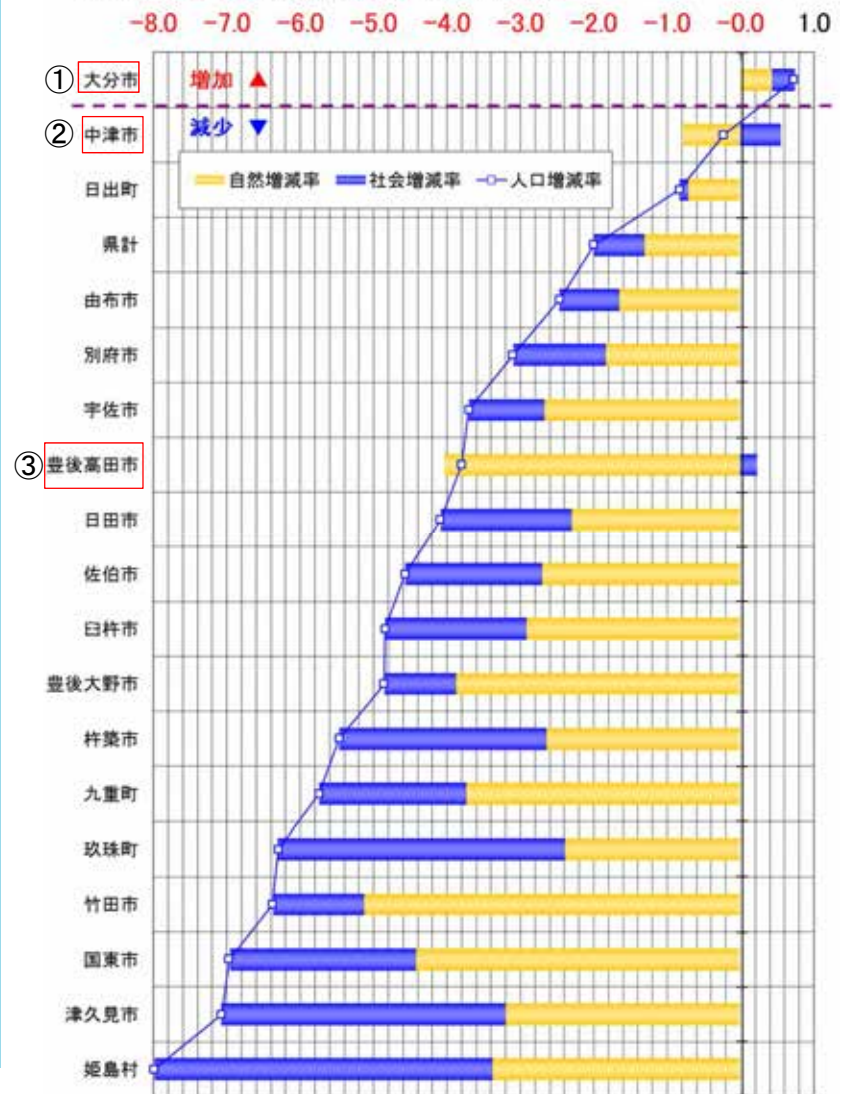
県内における誘致企業数 235 (H15~H25)



※企業の農業参入の状況 (H19~H25)

- 企業参入件数 176件
- 農業参入による雇用の増加数 1,784人

大分県内の市町村別人口増減率 (平成22年10月~平成26年5月)



大分県内の移住対策

○ 移住希望者の大分県への関心が高まっている好機を活かすため、本県・市町村は移住対策の強化に取り組んでいる。

豊後高田市

・「人口3万人」を目指し、市の総力を挙げて定住促進に取り組んでおり、特に、きめ細やかな子育て、教育環境が充実。



・市の直営塾「学びの21世紀塾」を開設し、官民のボランティアの協力の下、子どもたちの居場所や、地方でも都市部以上の充実した学習機会と活動の場を提供。

<移住実績(H22~H25) 99世帯、216名(市対応案件のみ)>

国東市

・今秋「国東半島芸術祭」を開催するなど、芸術や工芸・陶芸などアートを通じて地域を活性化する人材の移住を促進。



・国見町のギャラリー通りの空き店舗を、移住希望の芸術家や工芸家が、お試し居住できる施設「イミテラス」に改修し、最低1ヶ月は制作活動を試みられるよう貸出し。

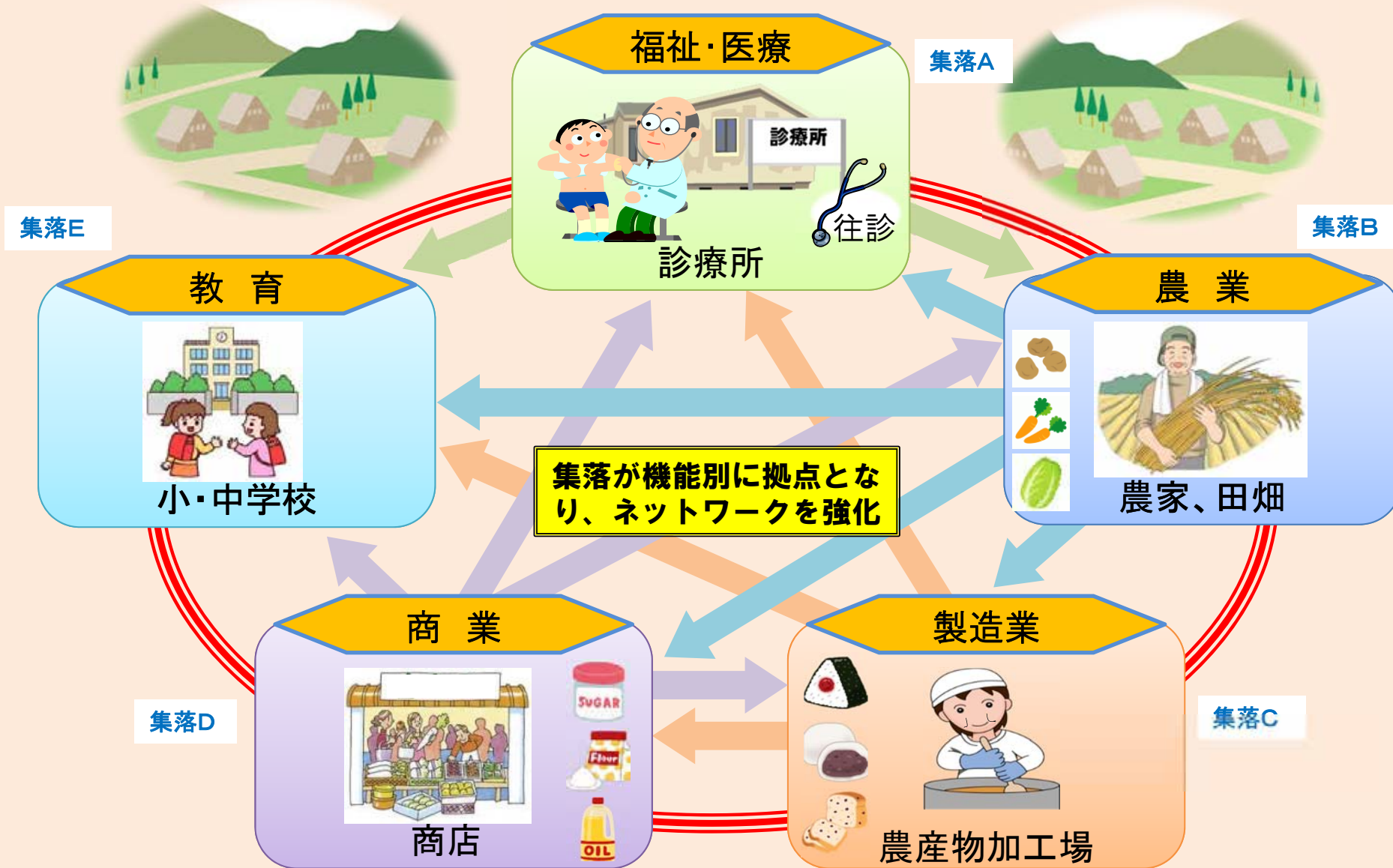
<移住実績(H23~H25) 20世帯、42名(市対応案件のみ)>

○移住者受入オール大分体制

- ・県や市町村の関係部局、産業人材センター等で移住環境を整備するため「ふるさと大分回帰連絡会議」を開催。
- ・空き家・住宅情報「空き家バンク」充実に向け、昨年度、全国で初めて全市町村で「空き家実態調査」を実施。
- ・移住・交流ポータルサイト「おおいた暮らし」では、県内全市町村の「空き家バンク」を掲載し利用促進に努めるほか、医療・福祉・教育環境や就職・就農支援ガイド、地域情報など、移住に関するお役立ち情報を発信。
- ・創造都市の取組を推進する「創造都市ネットワーク日本（CCNJ）」に、県が本年6月参加。

機能別拠点とネットワーク

〈今後の集落のあり方〉
○ 既存の施設を活かして各集落が機能を分担し、ネットワークを図る。



大分県における新たな広域連携モデル事業の概要

○ 離島、中山間地域などの人口減少の著しい町村において、町村の役割を補完する連携をモデル的に実施

◎ 姫島村(離島)

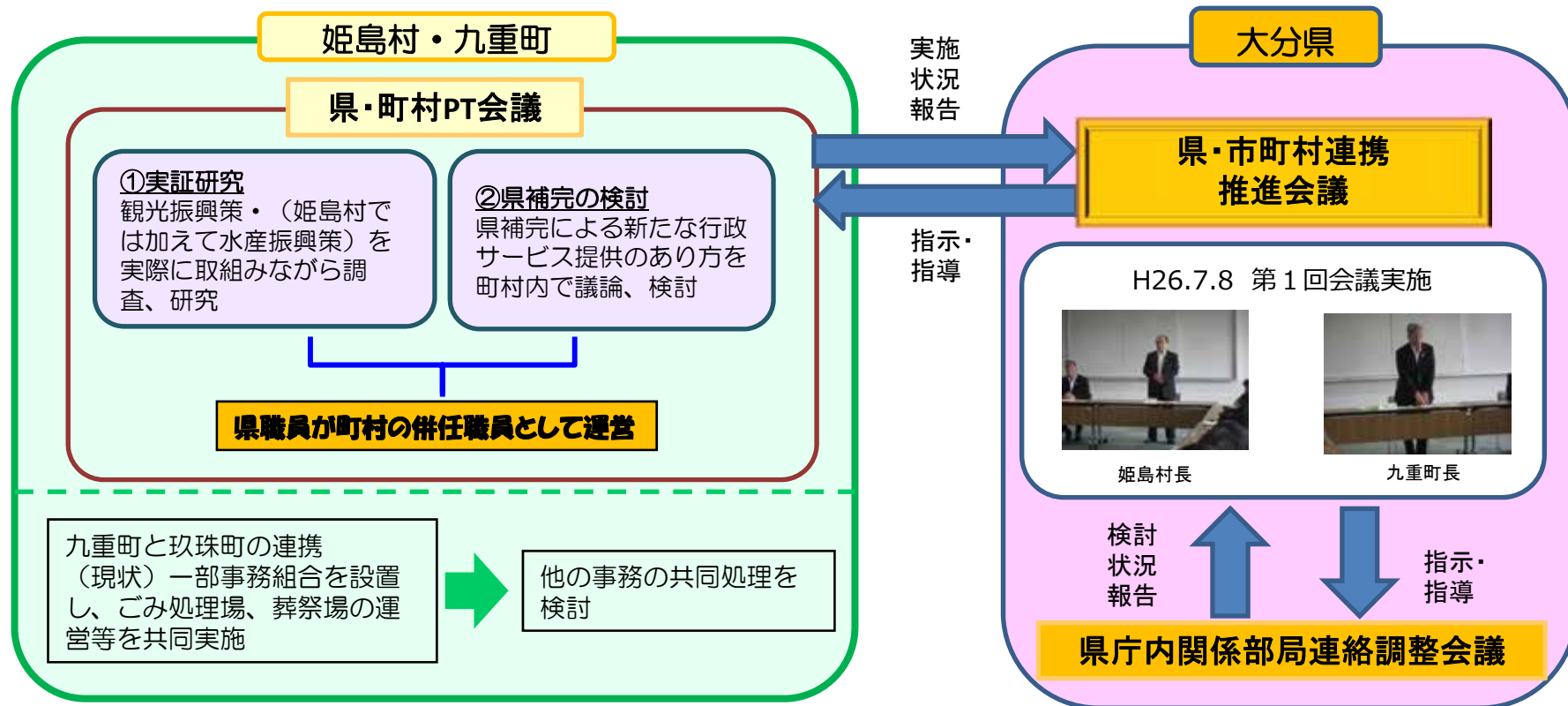
- ・人口: 2,189人
- ・高齢化率: 36.8%
- ・課題: 地域資源を活かした観光振興、水産業の振興

【共通の課題】

- 人口減少・高齢化率の上昇が顕著
- 人員不足により観光振興等の専任職員の配置困難
- ノウハウ、経験不足によりコーディネート役不在

◎ 九重町(中山間地域)

- ・人口: 10,421人
- ・高齢化率: 37.1%
- ・課題: 観光業の活性化



九州における人口減少社会への対応策

○ 九州の恵まれたポテンシャルを活かし、国際競争力のある経済圏を形成することで定住人口や交流人口の増加を実現

○高い合計特殊出生率

全国に比べ合計特殊出生率が高く
トップ10に6県がランクイン
(①沖縄(1.94),②宮崎(1.72),③熊本(1.65)
⑤長崎(1.64),⑥鹿児島(1.63)⑨佐賀(1.59))

	H7	H12	H17	H22	H25
九州	1.56	1.44	1.41	1.58	1.60
全国	1.42	1.37	1.27	1.39	1.43

○強い地域の一体性

首都圏に次いで圏域内移動率
が高く、結びつきが強い

	転出	転入
九州	45.2%	47.6%
首都圏	63.0%	57.8%
近畿圏	43.2%	44.3%
中部圏	23.0%	22.7%

○アジアのゲートウェイ

世界の成長センターである
アジアのゲートウェイとして
地理的優位性を保持

○九州の対全国比

- ・人口 11.4%
- ・面積 11.1%
- ・圏域内総生産 9.6%

九州・沖縄地方成長産業戦略 ～九州・沖縄Earth戦略～

豊かな自然を活かしグローバル(地球規模)な視点で課題に挑戦する九州の成長戦略。
4つの戦略分野が連携し、アジアのゲートウェイとして持続的な発展を目指す。

クリーン分野 Energy & Environment

- ・クリーンで経済的なエネルギーの供給拠点化
- ・省エネルギー先導拠点の形成
- ・アジアにおける環境・エネルギー関連産業の先導

スマート農業

農林水産業・食品分野 Agriculture

- ・海外市場への展開促進及び新規ニーズへの対応強化
- ・国内外の販路開拓・最適生産のための体制構築
- ・九州ブランドの創設、物流・輸送システムの強化

ヘルスケアツーリズム

医療・ヘルスケア・コスメ分野 Health

- ・予防医療・健康増進サービスの産業創出
- ・医療機器分野への参入促進及び海外展開
- ・地域資源等を活かした化粧品関連産業の振興

健康スマートシティ

観光分野 Tourism

- ・第二期九州観光戦略の確実な実施
- ・クールジャパンと連動した観光振興

食と観光
グリーンツーリズム

Earth